

# 第5章

## 統計編



○ 使用した統計は、事業においては令和3年度による。

## 1 人口の推移

表1

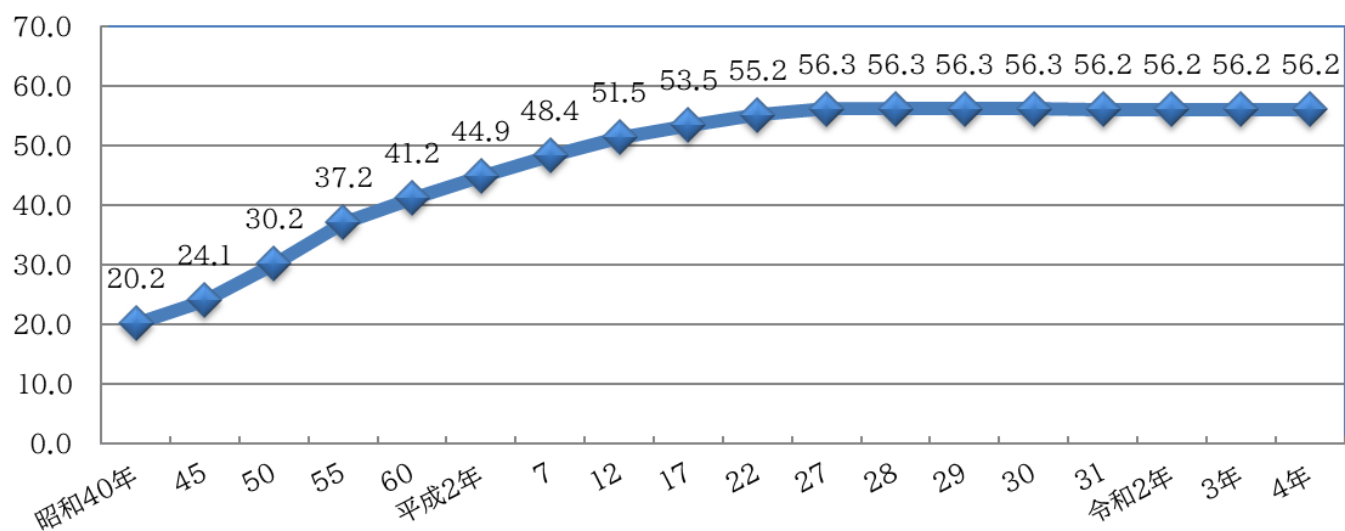
令和4年1月1日住民基本台帳人口

年次	八王子市	東京都	全国
H27年	562,572	13,297,585	128,226,483
28年	562,795	13,415,349	128,066,211
29年	563,228	13,530,053	127,907,086
30年	563,178	13,637,346	127,707,259
31年	562,460	13,740,732	127,443,563
R2年	562,480	13,834,925	127,138,033
3年	561,828	13,843,525	126,654,244
<b>4年</b>	<b>561,758</b>	<b>13,794,933</b>	<b>125,927,902</b>

※ 全国及び東京都人口は、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(総務省総務局)による。

図1

人口数(万人)



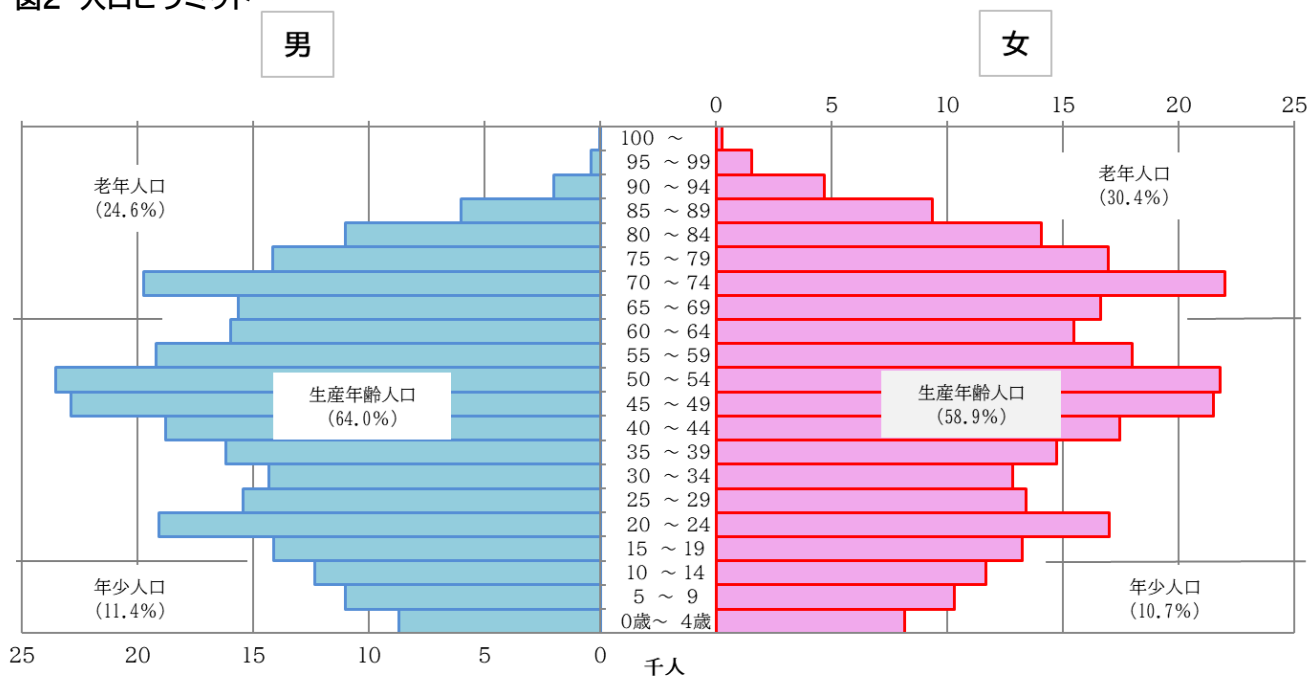
## 2 性・年齢階級別人口

表2

令和4年1月1日住民基本台帳人口

年 齢	管 内			
	男	女	総 数	構成比
0歳～ 4歳	8,702	8,142	16,844	3.0
5 ～ 9	11,030	10,285	21,315	3.8
10 ～ 14	12,361	11,676	24,037	4.3
15 ～ 19	14,136	13,230	27,366	4.9
20 ～ 24	19,097	17,005	36,102	6.4
25 ～ 29	15,449	13,395	28,844	5.1
30 ～ 34	14,330	12,840	27,170	4.8
35 ～ 39	16,193	14,734	30,927	5.5
40 ～ 44	18,789	17,467	36,256	6.5
45 ～ 49	22,908	21,488	44,396	7.9
50 ～ 54	23,542	21,810	45,352	8.1
55 ～ 59	19,226	17,974	37,200	6.6
60 ～ 64	15,978	15,474	31,452	5.6
65 ～ 69	15,648	16,635	32,283	5.7
70 ～ 74	19,755	22,004	41,759	7.4
75 ～ 79	14,165	16,969	31,134	5.5
80 ～ 84	11,010	14,051	25,061	4.5
85 ～ 89	6,038	9,355	15,393	2.7
90 ～ 94	2,007	4,669	6,676	1.2
95 ～ 99	391	1,528	1,919	0.3
100 ～	34	238	272	0.0
総 数	280,789	280,969	561,758	100.0
年少人口(0～14)	32,093	30,103	62,196	11.1
生産年齢人口(15～64)	179,648	165,417	345,065	61.4
老年人口(65歳以上)	69,048	85,449	154,497	27.5

図2 人口ピラミッド



### 3 人口動態の概況

#### <比率の説明>

$$(1) \text{ 出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(2) \text{ 合計特殊出生率} = \left[ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right] \text{15歳から49歳までの合計}$$

※合計特殊出生率の算出は本市の算出によるもので、東京都福祉保健局が発行する人口動態統計の数値と異なる場合がある。

$$(3) \text{ 死亡率} = \frac{\text{年間死亡数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(4) \text{ 乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡(生後1年未満の死亡)数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$(5) \text{ 新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡(生後28日未満の死亡)数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$(6) \text{ 死産率} = \frac{\text{年間死産数}}{\text{年間出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

$$(7) \text{ 周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡(妊娠22週以後の死産+生後1週未満の死亡)数}}{\text{年間出生数+妊娠22週以降の死産数}} \times 1,000$$

$$(8) \text{ 婚姻率(離婚率)} = \frac{\text{年間婚姻(離婚)数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(9) \text{ 自然増加率} = \frac{\text{年間出生数-年間死亡数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(10) \text{ 死因別死亡率} = \frac{\text{死因別年間死亡数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 100,000$$

※率算出基礎人口	令和3年10月1日現在	
	全 国	122,780,487 (下記参考①より)
	東 京 都	13,459,000 (下記参考②より)
	八王子市	579,809 (同 上)

#### <参考>

- ① 令和3年(2021)人口動態統計(確定数)の概況(厚生労働省)
- ② 令和3年人口動態統計年報(確定数)(東京都福祉保健局)
- ③ 衛生統計資料(令和3年10月1日現在の年齢構成別推計人口)(東京都福祉保健局)
- ④ 令和2年 65歳健康寿命(東京都保健所長会方式)結果 八王子市

表3 人口動態総覧

実数	出生		死亡			周産期死亡			死産			婚姻	離婚	自然増加
	総数	(再掲)	総数	(再掲)		総数	妊娠満2週以後	生後1週未満	総数	自然死産	人工死産			
		(250g未満児)		乳児死亡	新生児死亡									
R2年管内	2,905	258	5,396	5	4	9	5	4	70	33	37	1,892	826	△ 2,491
R3年管内	2,855	267	5,762	7	3	10	8	2	56	26	30	1,795	804	△ 2,907
R3年東京都	95,404	8,920	127,649	160	68	282	233	49	1,975	894	1,081	69,813	19,605	△ 32,245
率	人口千対	出生百対	人口千対	出生千対	出生千対	出産千対	出産千対	出産千対	出産千対	出産千対	出産千対	人口千対	人口千対	人口千対
R2年管内	5.1	8.9	9.5	1.7	1.4	3.1	1.7	1.4	23.5	11.1	12.4	3.3	1.46	△ 4.4
R3年管内	4.9	9.4	9.9	2.5	1.1	3.5	2.8	0.7	19.2	8.9	10.3	3.1	1.39	△ 5.0
R3年東京都	7.1	9.3	9.5	1.7	0.7	2.9	2.4	0.5	20.3	9.2	11.1	5.2	1.46	△ 2.4

図3 出生率の年次推移

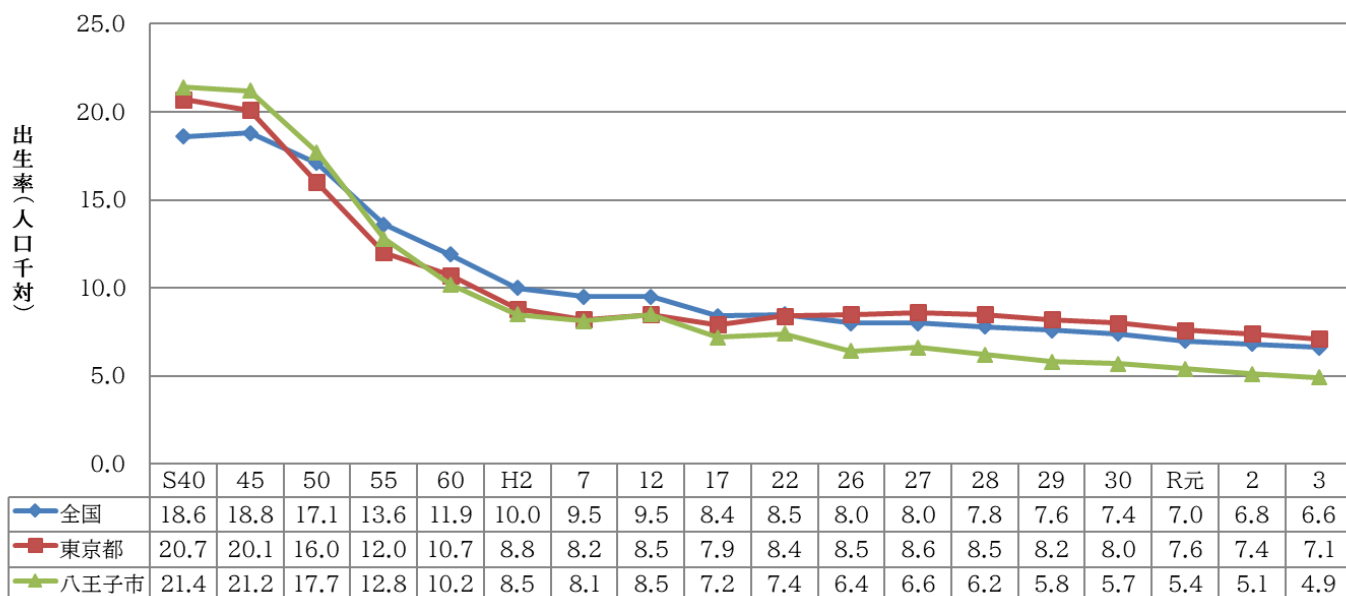
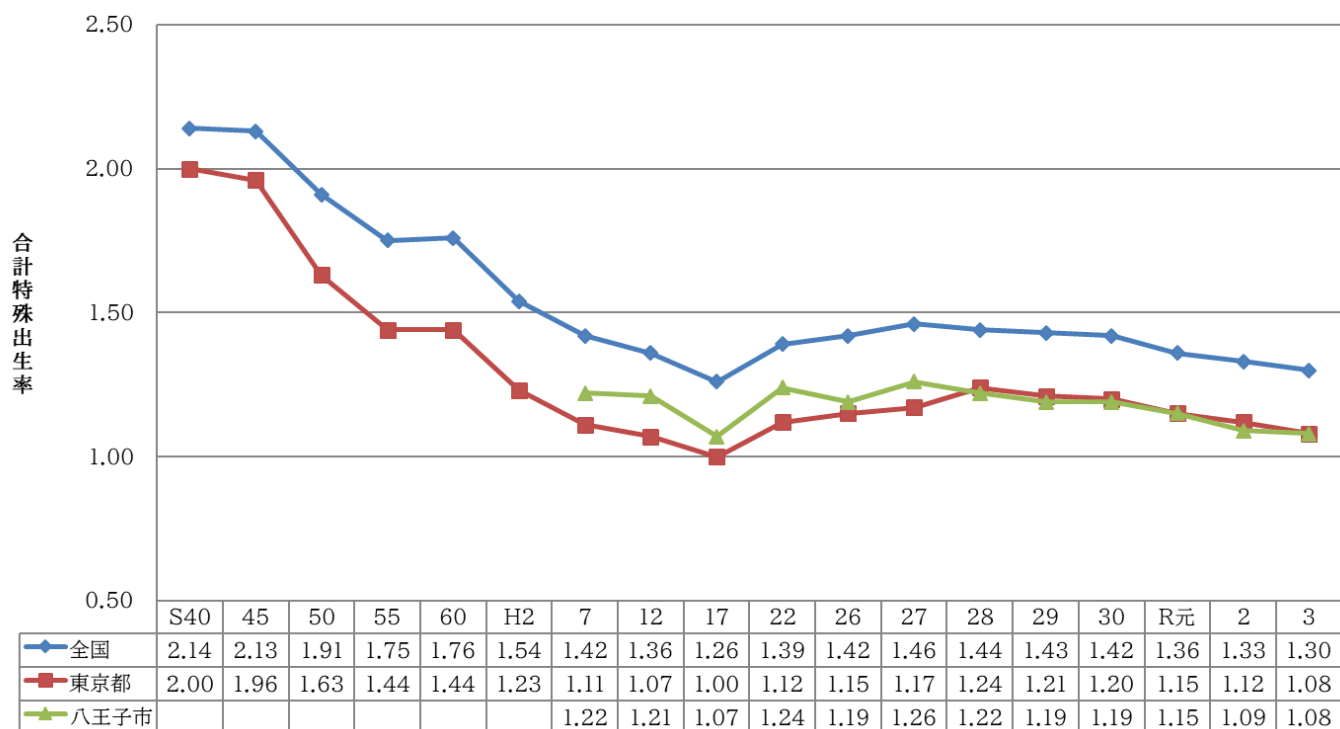


図4 合計特殊出生率の年次推移



※ 東京都では、平成6年以前の市町村単位での合計特殊出生率の数値は公表していない。

図5 死亡率の年次推移

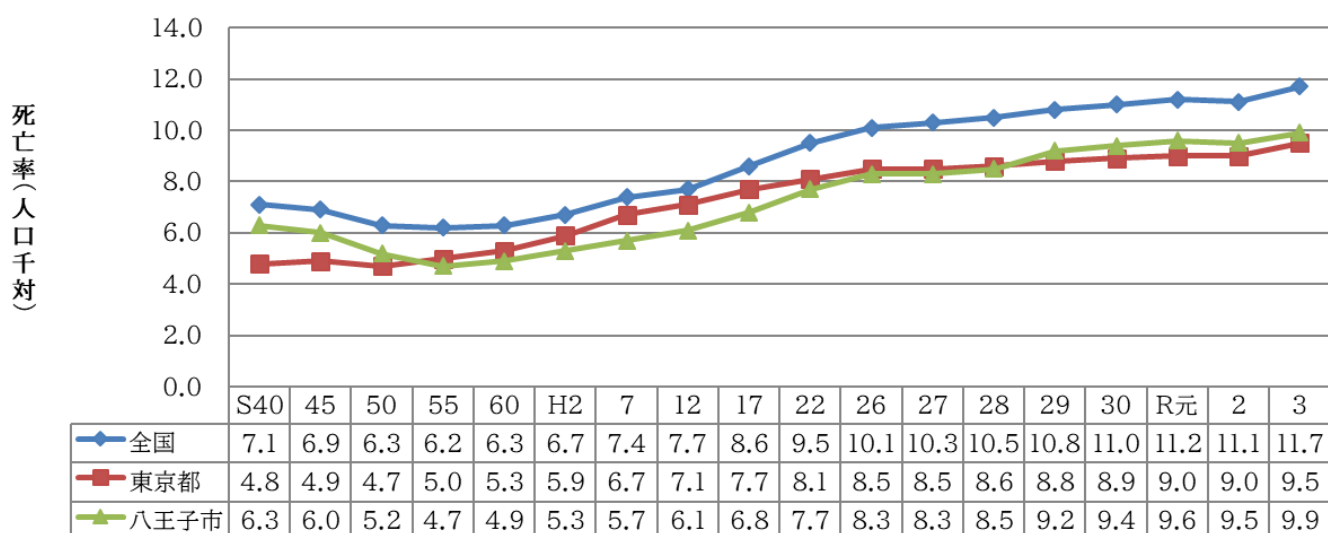


図6 乳児死亡率の年次推移

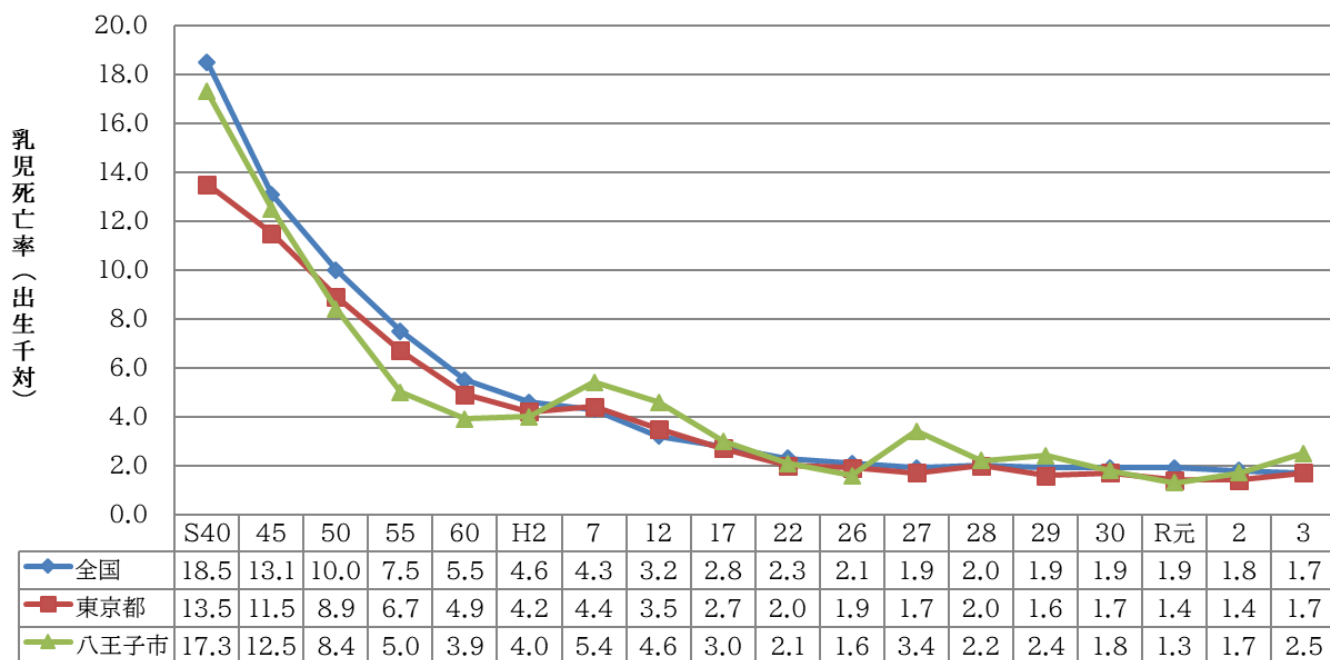


図7 新生児死亡率の年次推移

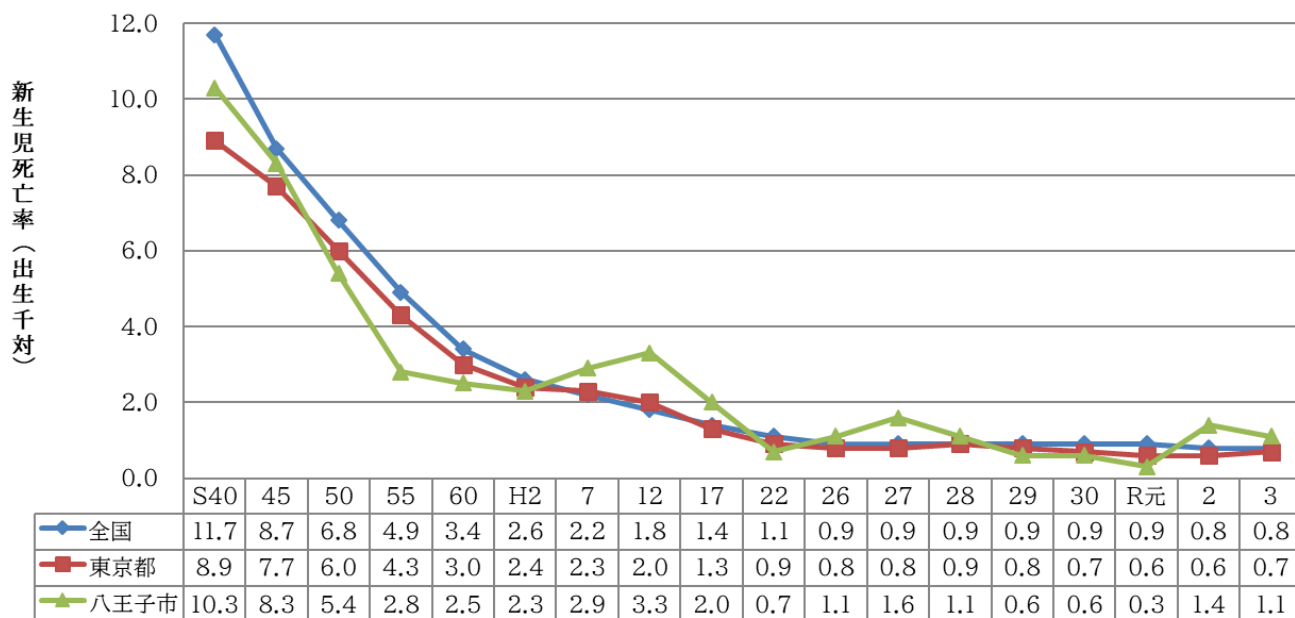




図8 周産期死亡率の年次推移

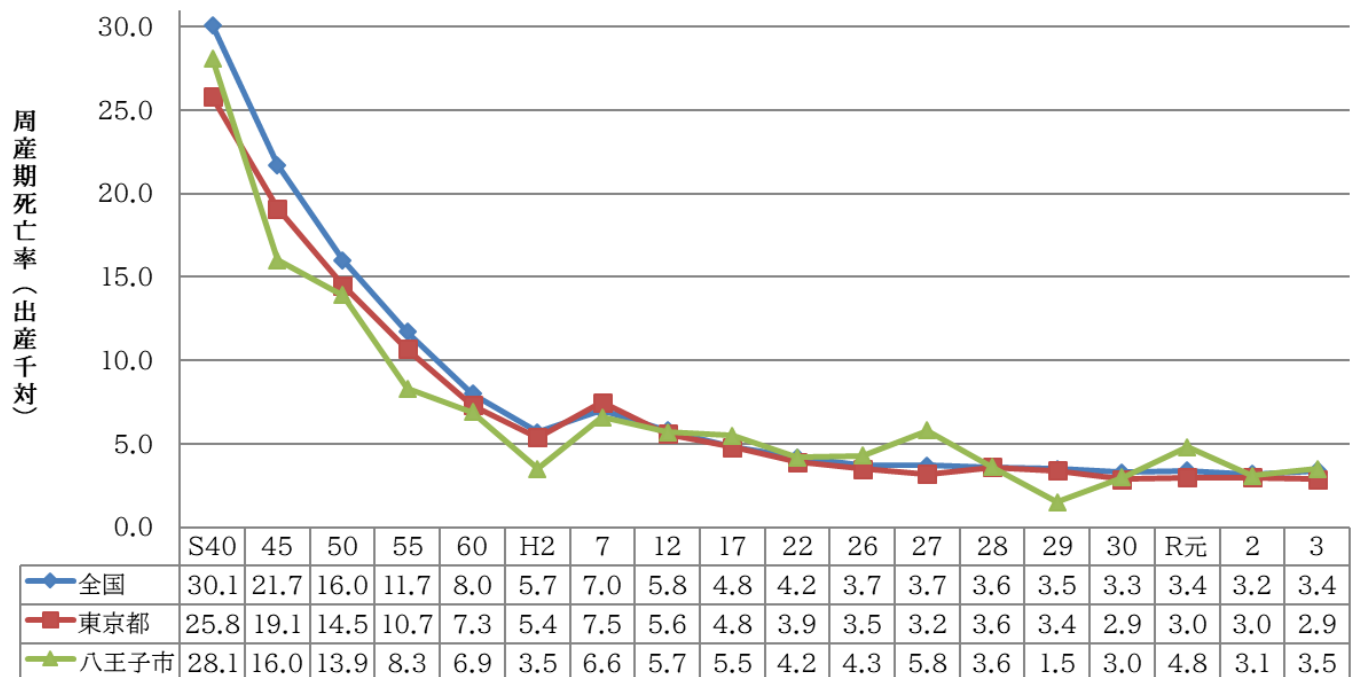


図9 死産率の年次推移

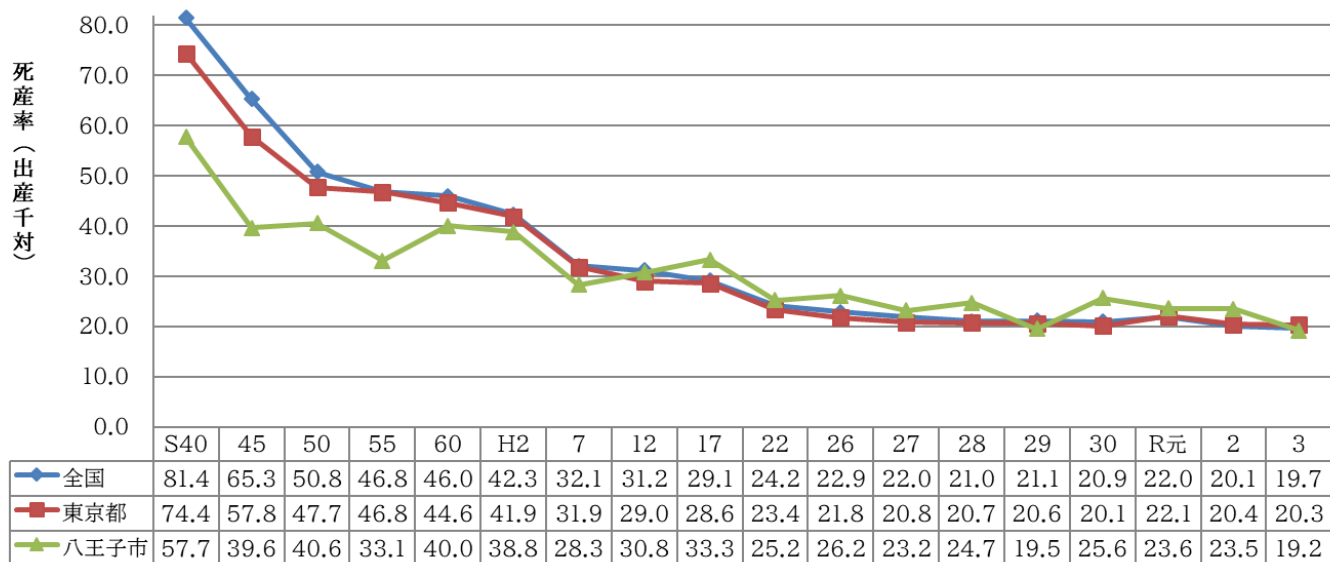


図10 婚姻率の年次推移

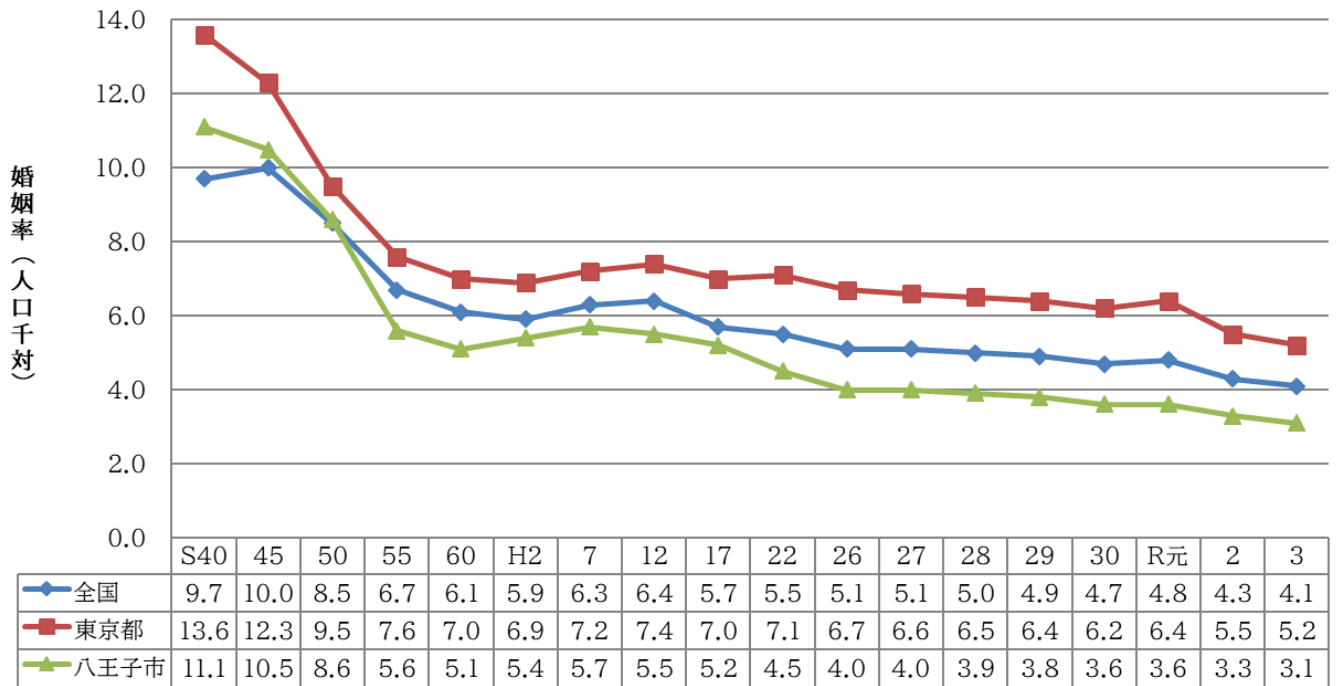


図11 離婚率の年次推移

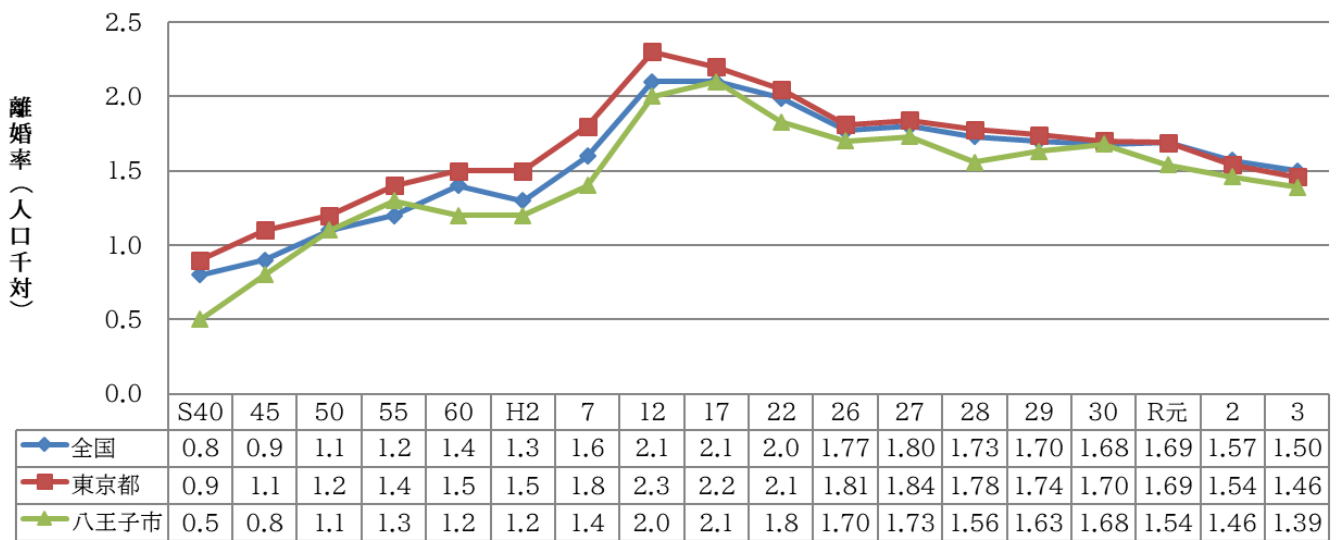


表4 出生数、母の年齢階級・出産順位別

母の年齢	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	第6子以上	不詳
総数	2,855	1,260	1,024	429	105	21	16	-
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
15歳～19歳	26	21	5	-	-	-	-	-
20歳～24歳	193	130	49	13	1	-	-	-
25歳～29歳	645	381	186	66	9	2	1	-
30歳～34歳	1,032	436	414	132	37	6	7	-
35歳～39歳	744	222	290	178	40	9	5	-
40歳～44歳	207	67	80	36	17	4	3	-
45歳～49歳	8	3	-	4	1	-	-	-
50歳～	-	-	-	-	-	-	-	-
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-

図12 第1児の母の年齢年次推移

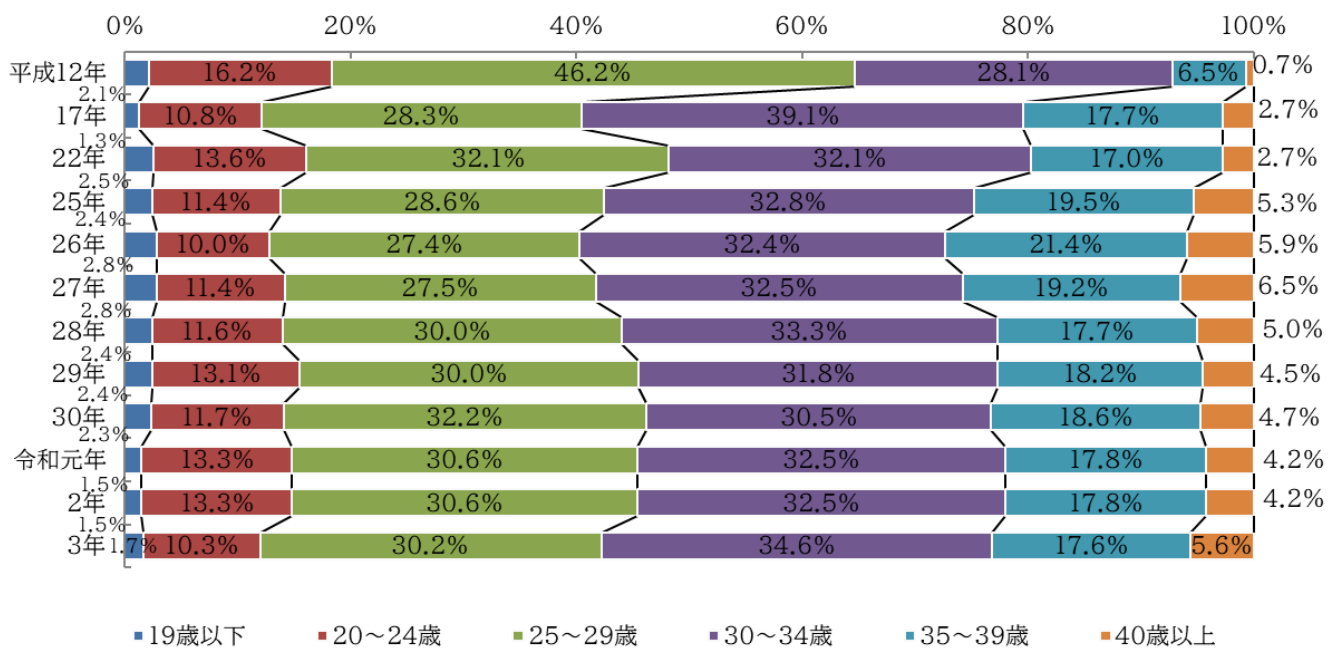


表5 妊娠期間別出生体重別出生数

妊娠週数	出生体重 (g)											
	総数	~999	1,000~1,499	1,500~1,999	2,000~2,499	2,500~2,999	3,000~3,499	3,500~3,999	4,000~4,499	4,500~4,999	5,000~	不詳
総数	2,855	3	13	51	200	1,136	1,176	252	23	-	-	1
男	1,444	2	7	22	99	516	619	164	14	-	-	1
女	1,411	1	6	29	101	620	557	88	9	-	-	-
満42週以上	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
満37~41週	2,677	-	-	6	138	1,095	1,165	250	23	-	-	-
満32~36週	158	-	4	41	62	41	8	2	-	-	-	-
満28~31週	13	1	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-
満28週未満	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不詳	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1

表6 乳児・新生児死亡数、主要死因(乳児死因分類)別

生後日数	死因	分類番号	Ba01	Ba02	Ba03	Ba04	Ba06~08	Ba09	Ba10	Ba11	Ba12	Ba13	Ba14	Ba15	Ba16	Ba17	Ba18	Ba19	Ba20	Ba21	Ba22	Ba24	Ba25	Ba26~30	Ba31~32	Ba33	Ba35~43	Ba44	Ba46~54	Ba55	その他	
		総数	腸管感染症	敗血症	麻痺	ウィルヘルムス肝炎	悪性新生物	その他の新生児	栄養失調症及びその他の栄養欠乏症	代謝謝障害	髄膜炎	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	脳性麻痺	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	インフルエンザ	肺炎	喘息	ヘルニア及び腸閉塞	肝不全	腎不全	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	出産外傷	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	周産期に特異的な感染性	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	先天奇形、変形及び染色体異常	乳幼児突然死候群	不慮の事故	他	その全死因	
総数	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	1	-	-	2
生後7日未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	
7日~4週未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4週~1年未満	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	

表7 原因別死産数(基本分類)

死産の原因 児側病態	母側病態							
	総数	P00 現在の妊娠とは無関係の場合もあり得る母体の病態により影響を受けた胎児及び新生児	P01 母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児及び新生児	P02 胎盤、臍帯及び卵膜の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	P03 その他の分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児	P04 胎盤又は母乳を介して有害な影響を受けた胎児及び新生児	P97 母体保護法による人工妊娠中絶、母体の病態によらないもの	P99 病態の記載のないもの
総数	56	32	4	3	-	-	10	7
自然死産	26	12	4	3	-	-	-	7
周産期に発生した病態	26	12	4	3	-	-	-	7
P05-P08 妊娠期間及び胎児発育に関する障害	3	-	1	-	-	-	-	2
P20-P29 周産期に特異的な呼吸器障害と心血管障害	-	-	-	-	-	-	-	-
P35-P39 周産期に特異的な感染症	-	-	-	-	-	-	-	-
P50-P61 胎児と新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-	-	-	-	-
P80-P83 胎児と新生児の外皮及び体温調節の病態	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	23	12	3	-	-	-	-	5
先天奇形、変形及び染色体異常	-	-	0	-	-	-	-	-
Q00-Q07 神経系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-
Q20-Q28 心臓、その他の循環器系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-
Q30-Q34 呼吸器系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-
Q65-Q79 筋骨格系の先天奇形及び変形	-	-	-	-	-	-	-	-
Q80-Q89 その他の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
人工死産	30	20	-	-	-	-	10	-

図13 主要死因の年次推移

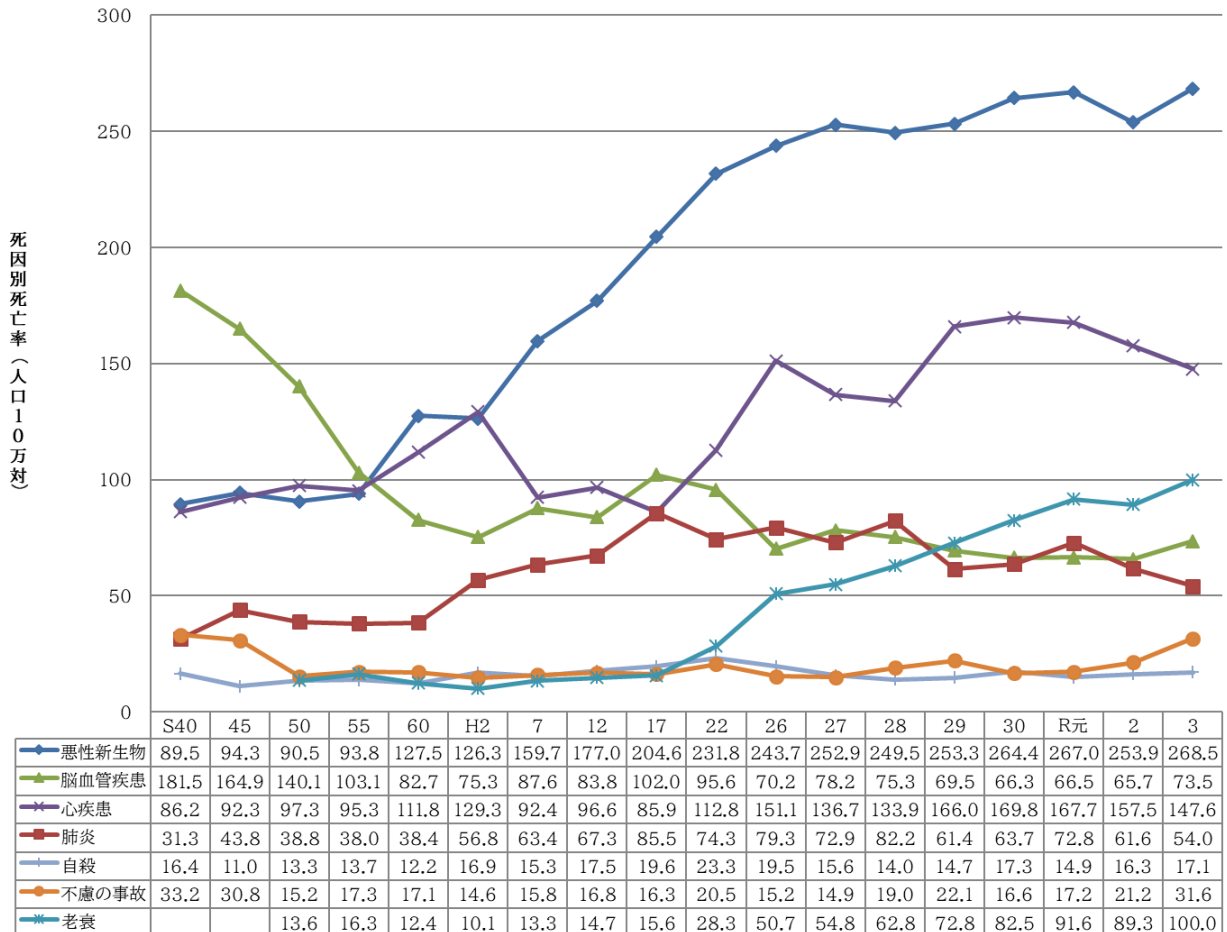


表8 年次別死因順位・死因別死亡率(人口10万対)

年	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
平成12	悪性新生物 177.0	心疾患 96.6	脳血管疾患 83.8	肺炎 67.3	自殺 17.5	不慮の事故 16.8	老衰 14.7	肝疾患 12.9	腎不全 9.0	糖尿病 8.6
17	悪性新生物 204.6	脳血管疾患 102.0	心疾患 85.9	肺炎 85.5	自殺 19.6	不慮の事故 16.3	老衰 15.6	腎不全 14.2	肝疾患 12.2	慢性閉塞性肺疾患 9.0
22	悪性新生物 231.8	心疾患 112.8	脳血管疾患 95.6	肺炎 74.3	老衰 28.3	自殺 23.3	不慮の事故 20.5	腎不全 15.9	肝疾患 14.0	慢性閉塞性肺疾患 10.7
25	悪性新生物 238.2	心疾患 132.9	脳血管疾患 80.9	肺炎 78.9	老衰 40.8	自殺 19.5	腎不全 13.6	不慮の事故 12.1	肝疾患 9.8	慢性閉塞性肺疾患 9.1
26	悪性新生物 243.7	心疾患 151.1	肺炎 79.3	脳血管疾患 70.2	老衰 50.7	自殺 19.5	不慮の事故 15.2	腎不全 12.9	肝疾患 10.9	慢性閉塞性肺疾患 10.2
27	悪性新生物 252.9	心疾患 136.7	脳血管疾患 78.2	肺炎 72.9	老衰 54.8	自殺 15.6	不慮の事故 14.9	腎不全 14.7	肝疾患 10.4	慢性閉塞性肺疾患 10.1
28	悪性新生物 249.5	心疾患 133.9	肺炎 82.2	脳血管疾患 75.3	老衰 62.8	不慮の事故 19.0	腎不全 15.2	自殺 14.0	肝疾患 12.3	慢性閉塞性肺疾患 9.9
29	悪性新生物 253.3	心疾患 166.0	老衰 72.8	脳血管疾患 69.5	肺炎 61.4	不慮の事故 22.1	誤嚥性肺炎 16.9	腎不全 16.3	自殺 14.7	肝疾患 11.6
30	悪性新生物 264.4	心疾患 169.8	老衰 82.5	脳血管疾患 66.3	肺炎 63.7	自殺 17.3	腎不全 17.0	不慮の事故 16.6	誤嚥性肺炎 15.8	慢性閉塞性肺疾患 11.4
令和元	悪性新生物 267.0	心疾患 167.7	老衰 91.6	肺炎 72.8	脳血管疾患 66.5	腎不全 18.2	誤嚥性肺炎 17.7	不慮の事故 17.2	自殺 14.9	大動脈瘤及び解離 12.3
2	悪性新生物 253.9	心疾患 157.5	老衰 89.3	脳血管疾患 65.7	肺炎 61.6	誤嚥性肺炎 21.9	不慮の事故 21.2	腎不全 17.3	自殺 16.3	大動脈瘤及び解離 12.0
3	悪性新生物 268.5	心疾患 147.6	老衰 100.0	脳血管疾患 73.5	肺炎 54.0	不慮の事故 31.6	誤嚥性肺炎 22.1	自殺 17.1	腎不全 17.4	糖尿病 12.2
3都	悪性新生物 255.2	心疾患 141.2	老衰 103.7	脳血管疾患 66.2	肺炎 43.6	誤嚥性肺炎 30.5	不慮の事故 21.0	腎不全 17.1	自殺 15.9	血管性及び詳細不明の認知症 14.7
3全国	悪性新生物 310.7	心疾患 174.9	老衰 123.8	脳血管疾患 85.2	肺炎 59.6	誤嚥性肺炎 40.3	不慮の事故 31.2	腎不全 23.4	アルツハイマー病 18.7	血管性及び詳細不明の認知症 18.2

※「誤嚥性肺炎」は平成29年より死因順位に用いる分類項目に追加しているため、平成28年以前の順位はつけていない。

図14 死因別死亡率割合(人口10万対)

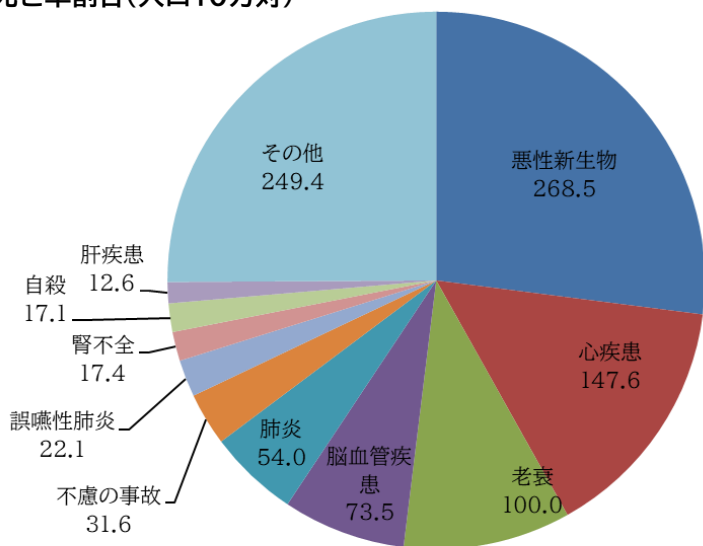


図15 生活習慣病による四大死因(年代別)

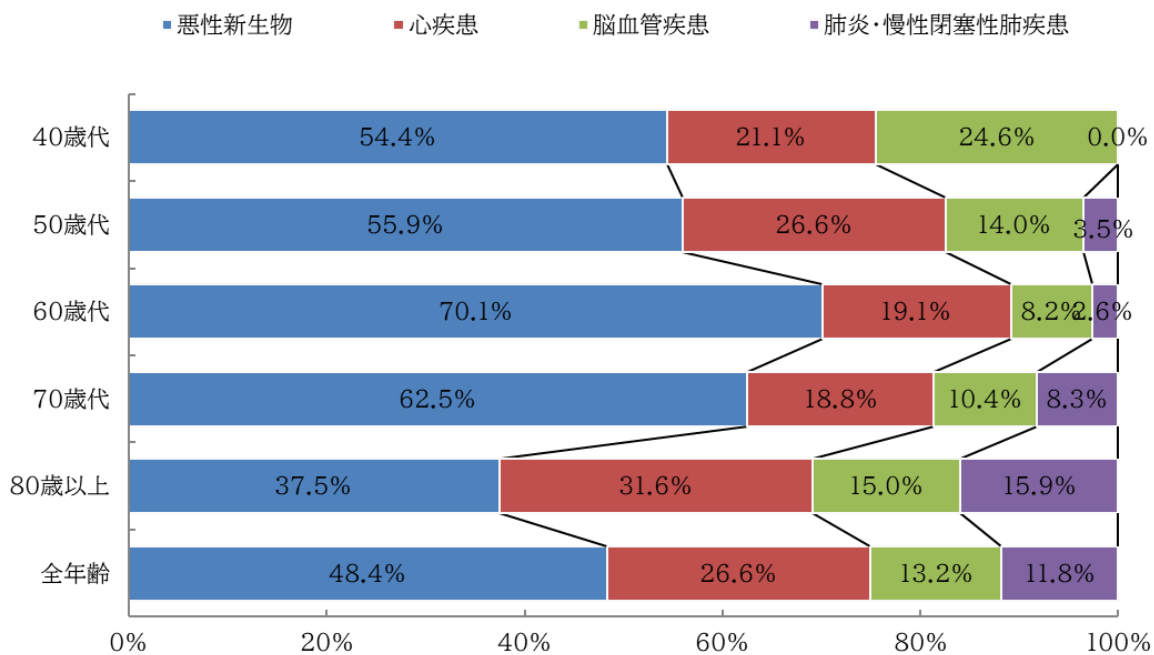


図16 悪性新生物の部位別割合

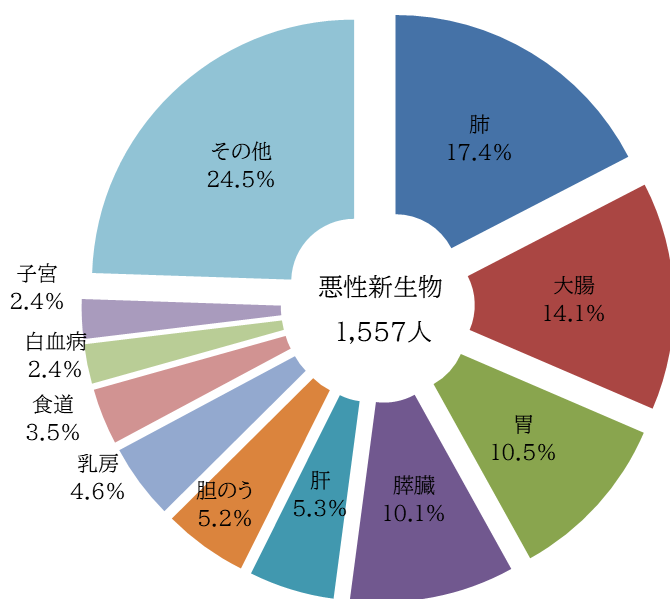


図17 悪性新生物の部位別性別数

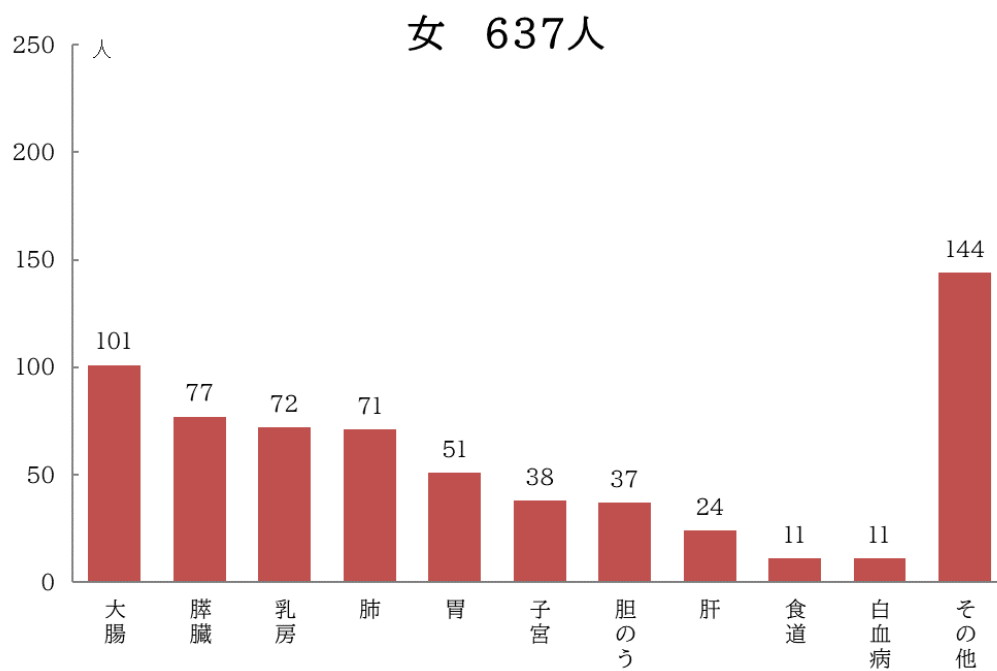
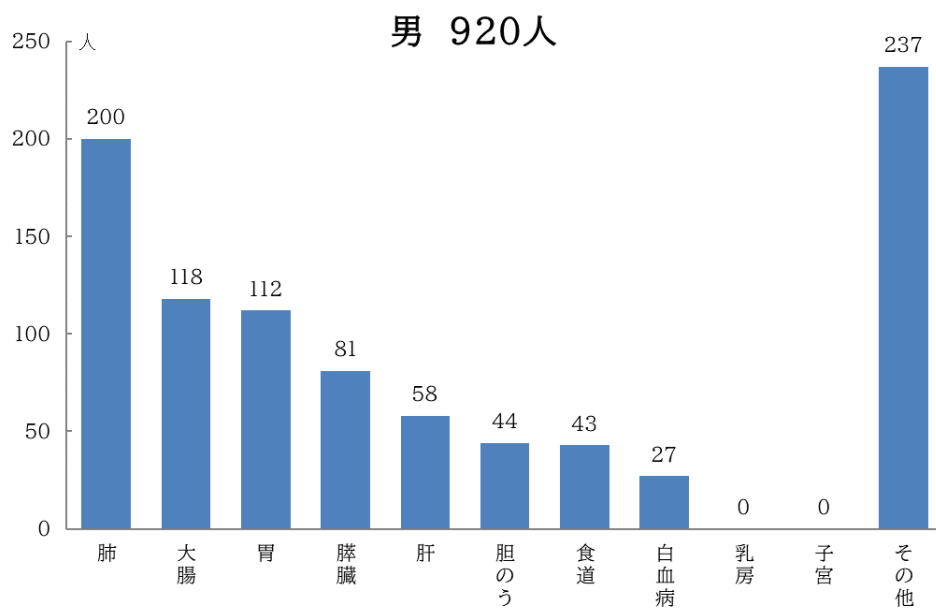
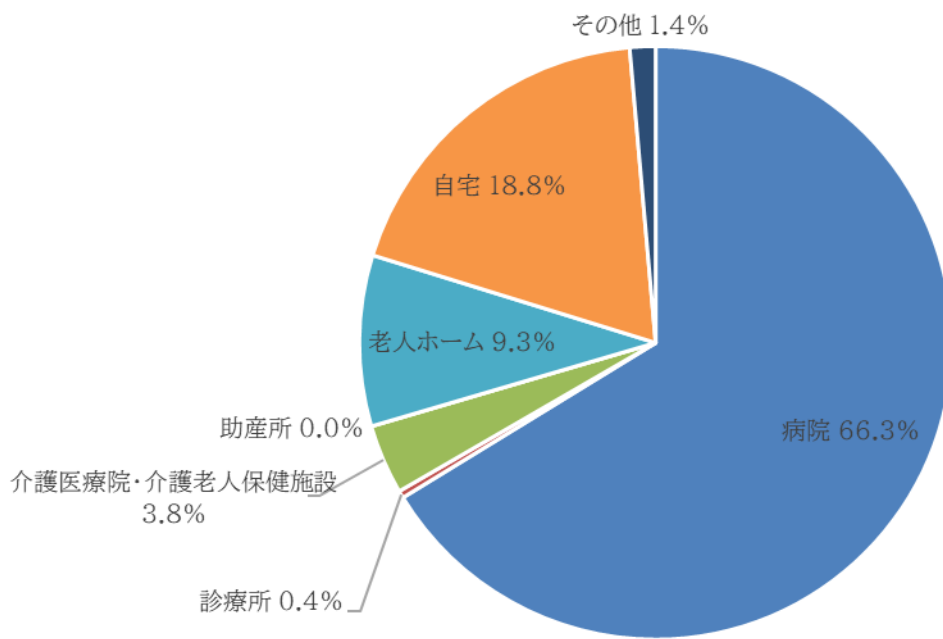






図18 死亡したところの種別



#### 4 65歳健康寿命・65歳平均障害期間

図19 65歳健康寿命(要介護2以上)

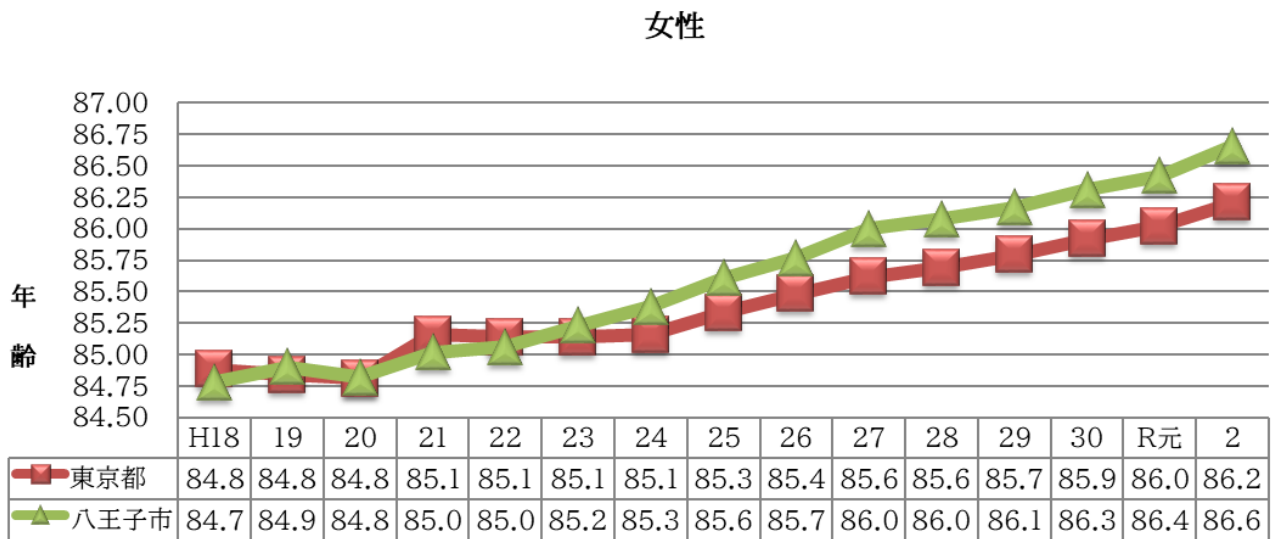
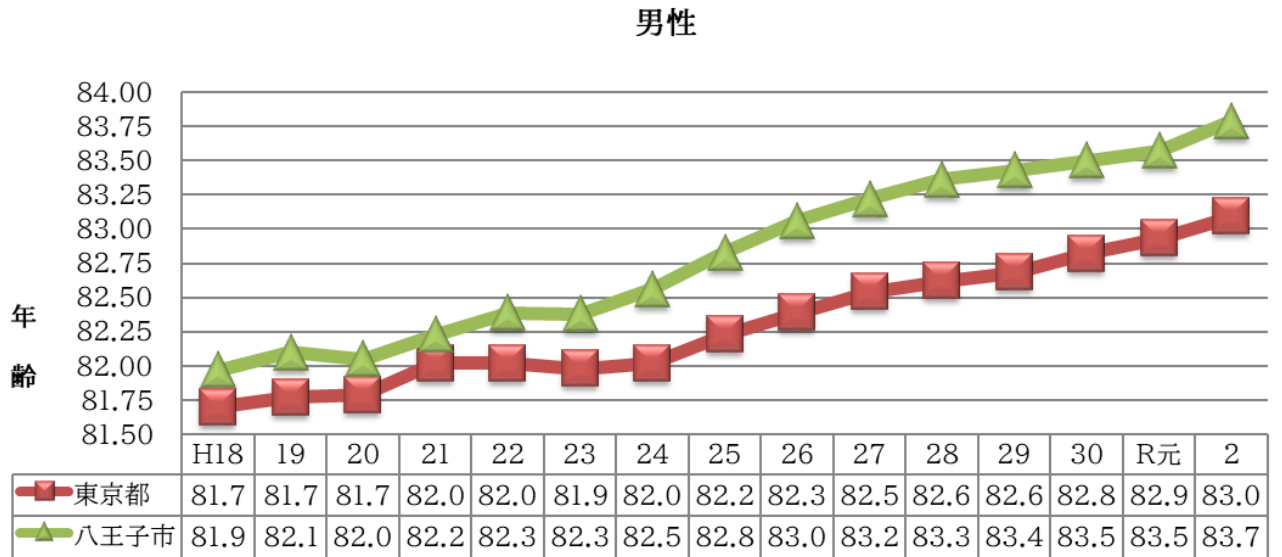
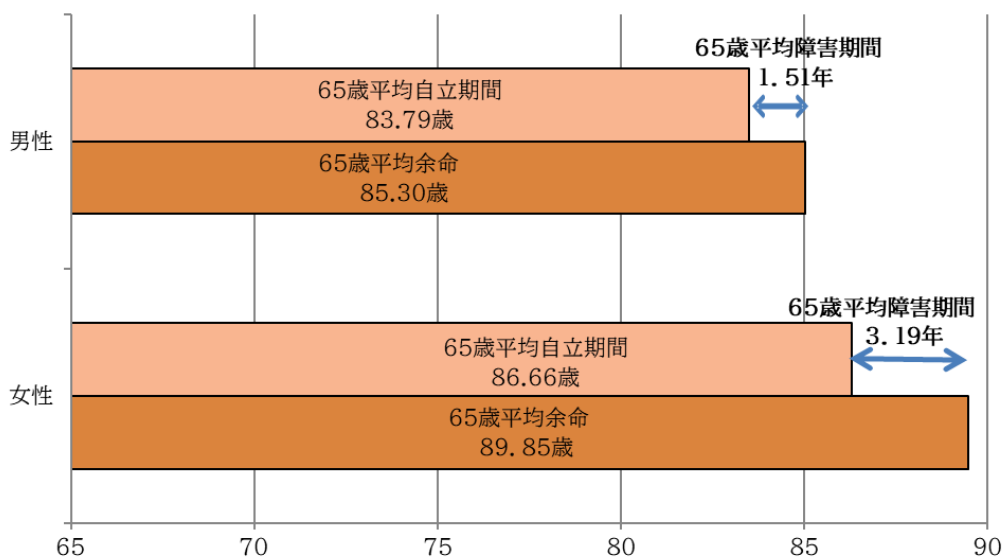


図20 65歳平均障害期間(令和2年)



65歳平均障害期間とは、65歳時点において、病気や障害などにより要介護認定を受けてから、死亡するまでの期間の平均

※65歳平均障害期間(年) = 65歳平均余命(年) - 65歳平均自立期間(要介護2以上)(年)